



一般社団法人
戦災復興支援センター
War Disaster Reconstruction Assistance Center

WDRAC Annual Report

2024.12.25

一般社団法人戦災復興支援センター第3期 年次報告書 (2023年10月-2024年9月)

1. 代表理事の挨拶
2. WDRACのマニフェスト
3. 第3期の歩み
4. WDRACの活動内容
5. WDRACの特徴
6. アンサングヒーローたちの活動内容ご紹介
7. 寄付について(実績)
8. 事業振り返り
9. 会計報告書
10. 第4期目に向けて
11. 組織概要
12. 寄付者からのメッセージ
13. お問い合わせ

Greetings from the Representative Director

代表理事の挨拶

着実な支援の実行と、継続を。

日頃よりWDRACへの温かいご支援を賜り、心より感謝申し上げます。
皆様のお力添えのおかげで、私たちは3期目を無事に終え、4期目の一歩を踏み出しました。

この1年間を振り返ると、戦災や紛争の被害を受けた地域で、目の前の一つひとつの支援活動に地道に向き合う日々でした。その中で、ウクライナに訪れることで多くのアンサングヒーローたちと出会う機会に恵まれました。紛争地域で避難者の支援を続けている方は、物資が不足する中でも「ここに来てくれるだけで、私たちも救われています」と笑顔で話してくださいました。その言葉が、私たちの活動の意義を改めて実感させてくれました。

一方で、世界情勢は依然として厳しい状況が続いています。パレスチナ・イスラエルの争い、ロシアとウクライナの戦闘、そして各地で絶え間ない紛争...。その影響を最も受けるのは、声を上げられない人々です。これから先も、こうした不透明な未来に直面しながら、支援を必要としている方々にどれだけ寄り添えるのかが問われています。

だからこそ、私たちのような草の根の活動がこれまで以上に求められているのだと感じます。大きな仕組みや制度だけでは届かない、人と人との繋がりから生まれる「支え」が、今ほど必要とされている時代はないのでしょうか。

私たちは引き続き、現場の声を聞きながら、小さな一歩を大切に進めてまいります。

これまでの活動を支えてくださった皆様の思いが、紛争地で暮らす方々にとっての「希望」になっていることを、どうか忘れないでください。そして、これからもアンサングヒーローたちと共に、ひとつひとつの命を守り、未来を紡いでいきたいと思っています。

どうか引き続き、WDRACへの変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。
共に、一日も早い調和と平和が訪れることを祈りつつ。



一般社団法人 戦災復興支援センター
(WDRAC)

代表理事 長尾 彰

We support those who support.



「支援する人たちを支援すること」が私たちの目的です

彼らは、大きな組織に属さず個人として行動し、草の根のネットワークやコミュニティと連携しながら支援活動を展開しています。そして、豊かな資金や豊富な人材を抱えるわけではなく、現場での作業に忙殺されていて、「これをしてもらったら助かるのに」「お金があれば解決できるのに」「一体これからどうなってしまおうだろう」という不安を感じています。

しかし、彼らと同じようにひとりの市民として支援の後押しをすることができたらどうでしょう？「支援する人たちを支援する」ことを通じて、苦しみ傷つき困難の最中にある人たちの助けになることができるとしたら？国・言語・文化・慣習・信仰を越えて、お互いに助け合い支え合うネットワークを世界中に広げられるとしたら、どんな世界を創り出すことができるでしょうか？

「自分には何もできることがない」と諦めたり、傷ついた人がいることをわかっていながら対岸の火事として横目で見るとはならず、「自分にもできることがある」と行動し、同じような気持ちでいる仲間たちと連帯することで、武力や暴力によって傷つけられたこの世界の調和とバランスを取り戻すことができます。

私たちが他と異なるのは、個人の意思が尊重されるフラットでオープンな組織で、少しずつ力を持ち寄り、支援活動をする人たちのニーズに応じた活動をするところです。そして、また、特定の国家・思想・信仰に偏らず、何事にも柔軟に対応し、試行錯誤を歓迎し、常にユーモアと明るさを忘れません。

私たちは、どんな理由があれ、尊厳を奪われてはならず、武力と暴力ではなく対話を通じて問題を解決していかなければならないこと、また、ひとりの小さな力も連帯を通じて大きなエネルギーや希望を生み出すことを信じています。

そして、これらを通じて、私たちは Change everything with love (愛ですべてを変えること) を約束します。

History

3期のWDRACとアンサングヒーローたちの歩み

2023年10月1日
第3期スタート

10月12日

クラウドファンディング

ウクライナへ子供たちの学習用PC、ペット用物資、医療用品を届ける活動を支援

10月22日

佐賀県唐津市にて復興支援イベントの実施

11月25日

第2期総会および定時社員総会の実施

12月9日

支援活動の精査、今後の取組についての合宿を東京都内で実施

1月15日

チャリティ音楽アルバム「Keep Going」リリース

2月1日

メンバー4名、AWSのポーランド・ウクライナでの支援活動に帯同

3月23日

佐賀県唐津市にてウクライナ現地活動報告会を実施

3月3日

WDRACラジオ『Keep Going!』放送100回

6月12日

ABWへ1000ドル(約157万円)送金

6月15日

長野県佐久穂町でWDRAC後援チャリティ音楽イベントの実施

8月21日

メンバー1名、AWSのポーランド・ウクライナでの支援活動に帯同

9月22日

佐賀県唐津市にてWDRACの活動およびウクライナでの現地活動報告会を実施

9月26日

ウクライナで活動するアンサングヒーロー、イワン氏へ送金（サッカー大会への活動支援）

Activities

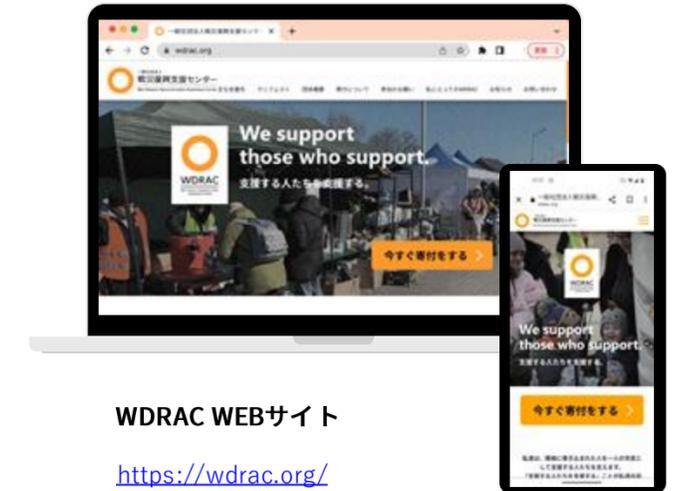
WDRACの活動内容

01

寄付事業

支援対象者の顔と実態が分かる活動への金銭的支援活動を実施。
また、そのための募金活動を日本国内にて実施。

- ・ 寄付受付のハブとして、WDRACのホームページを公開。その中で、個人からのスポット寄付の他、マンスリー寄付、クラウドファンディング寄付などを実施
- ・ 各所にて、WDRACのポスター・パンフレットの配布を実施
- ・ チャリティコンサート、商品販売連動型寄付など、多様な募金方法を実施



WDRAC WEBサイト

<https://wdrac.org/>

02

普及啓発事業

戦災復興支援に向けての公益活動を推進・啓蒙し、
関心やボランティア精神の涵養を図っていく活動。

- ・ WDRACのホームページから、情報発信や寄付受けのハブとしていく
- ・ YouTubeでのWDRAC RADIOや、TwitterなどのSNS実施
- ・ イベントやセミナーの開催
- ・ その他PR活動（NHK「おはよう日本」などで紹介されました）



記憶のダイアリー ~あの日あの頃
第40回~第43回

https://www.youtube.com/watch?v=ngL_bq066CyE



“支援者を支援する”日本にいてウクライナ
にできることは

<https://www.nhk.jp/p/ohayou/ts/QLP4RZ8ZY3/blog/bl/pzvl7wDPqn/bp/pa7ew4vXRp/>

01

顔の見える支援先。密なコミュニケーション

私たちWDRACの支援先の人々は、大きな組織には属さず、個人で、草の根のネットワークやコミュニティと連携しながら支援活動をしています。私たちは、そんな彼らを「**unsung hero (アンサングヒーロー、名もなき英雄)**」と呼び、支えます。必要なときに必要な人に必要な物が効果的に届けられるように、彼らと日常的な情報共有の機会を持ち、現地でどのような対象に対しどんな支援をするか、どれくらいのコストがかかるのかを共有した上で、寄付金を決定・送金しています。

02

寄付はほぼ100%を現地に回す

WDRACは、学生、会社員、広報、デザイナー、教員、経営者、アスリート、アーティスト、税理士など多種多様なバックグラウンドを持つメンバーの活動によって支えられています。それぞれの専門性を活かし、仕事や学業の合間の時間を少しずつ持ち寄ること、またチーム単位での作業と連携をすることで効率の良い活動を実現することができています。日常の活動はすべてがオンライン上でのやりとりで進めることで、**無理のない活動参加を可能にし、また、低い運営費**とすることができています。

03

現地の経済も回し、自立も支援する

WDRACは日本で物品を購入して現地に送ることは殆どしません。現地で活動するアンサングヒーロー達に金銭的な支援を行います。彼らは、そのお金で支援物資を購入するなどの活動を行います。そのため、**現地経済にお金が循環することになり、支援に使用した金額はほぼ100%現地復興に回っていく**こととなります。そして、自立支援へとつなげていきます。

Unsung Heroes

アンサンブヒーローたちの活動内容ご紹介



Oleg Chernov

オレグ・チェルノさん



Patricia Kudo

パトリッチア・クドーさん
(写真右)



Simon Massey

サイモン・マッシーさん
(写真左)

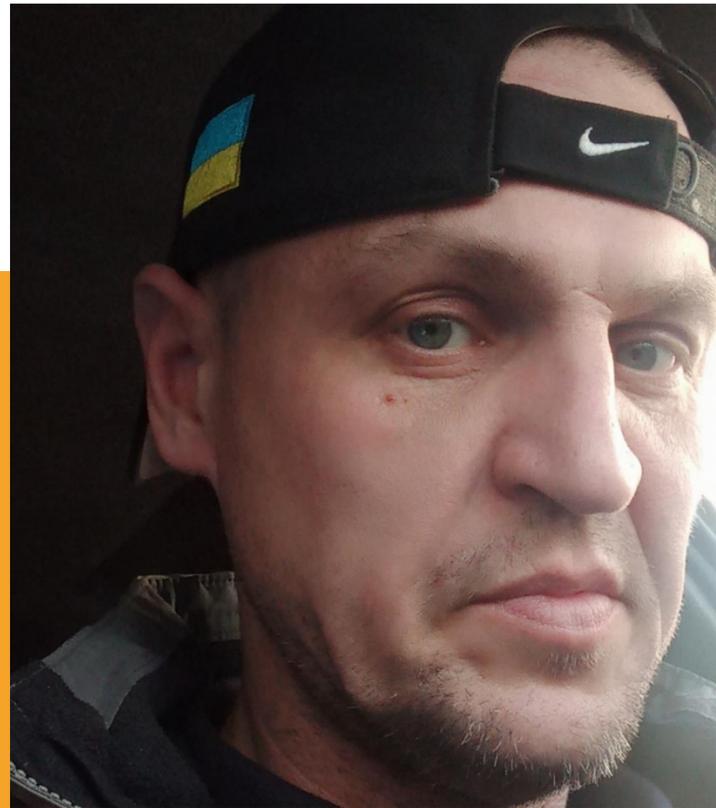


Travis Goode

トラヴィス・グードさん

Message from Oleg Chernov

オレグ・チェルノさんからのメッセージ



Oleg Chernov

オレグ・チェルノさん

WDRACコミュニティの親愛なる友人たちへ

コミュニティのメンバーひとりひとりに感謝します。
私たちは一緒に、共通の必要かつ非常に価値のある活動を行っています。
私たちの行動に対して、さまざまな年齢の子供たちが、深く驚いた表情で応えてくれました。
彼らは人生に甘やかされておらず、基本的に贈り物に慣れていません。普通の子ども時代とはまったく違うのです。
私たちは、そんな彼らの人生を少しでも明るくすることができます。
それは、大変価値があるものです。
受け取った寄付は、ウクライナのニーズと的を絞った援助のために支出しました。
特に、キーウ近郊の2つの孤児院に対する重点的な支援は、大きな効果をあげることができました。
今後もこれらの孤児院や戦争孤児・遺児のための活動が続けられるよう、資金の調達と支援の計画を含め引き続き活動を続けていきます。
WDRACへの支援とウクライナへの関心を寄せていただくと共に、これからのパートナーシップに心から感謝を伝えます。



WDRACの寄付により調達したバンで、病院や高齢者施設、孤児院など支援が必要な人達に支援物資を運搬



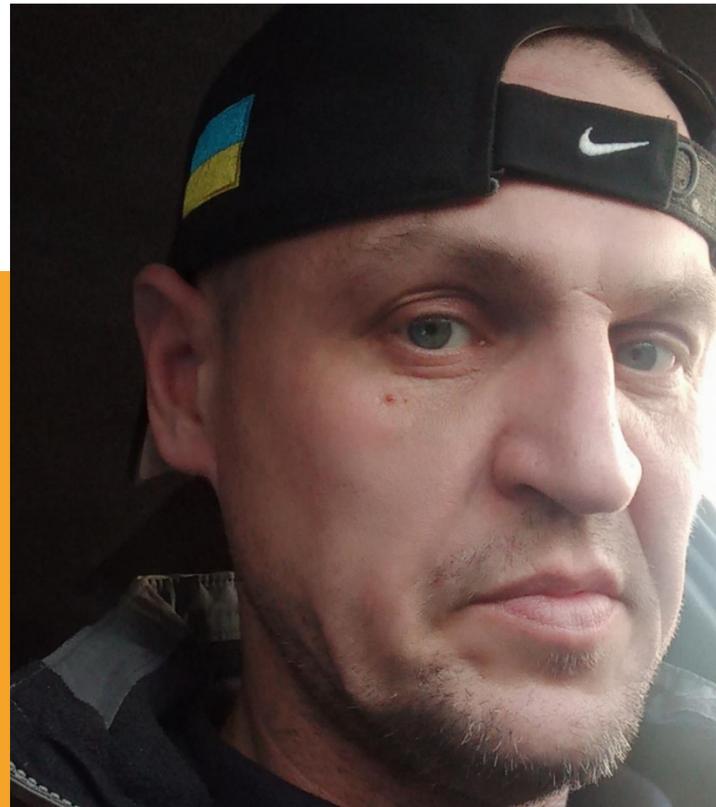
キーウ近郊の孤児院への支援活動



治療が必要な孤児のために、寄付から医薬品も調達し適切な医療が受けられるよう支援

Introduction of Unsung Heroes Activities

オレグ・チェルノさんの活動紹介



Oleg Chernov

オレグ・チェルノさん

WDRACヨーロッパを立ち上げ 家族とともに支援活動を継続中

ウクライナのキーウ在住のオレグさん。侵攻直後、ご家族は隣国の親戚のもとに避難しオレグさんは飼い猫と自宅に残りました。繰り返される長距離ミサイルやドローンでの空爆・攻撃が続く中、彼は武器を持たないかわりにハンドルを握り、病院・障害児施設・老人保健施設・孤児院など国外に退避することができない人達のために、食料や医薬品、生活に必要な物資を届け続けています。

そんな彼をサポートする上での最大の課題は、日本からウクライナの銀行に送金ができない、という課題でした。模索と協議の末、WDRACヨーロッパを設立、EUに法人登記をし、ブルガリアの銀行に口座を開くことでこれまでの個人の活動から団体としての活動にシフトしました。

国外に避難していたご家族もキーウに戻り、オレグさんと支援活動を共にしています。

戦争の長期化に伴い、孤児・遺児の数も増加の一方を辿っています。医療・教育・福祉の現場での支援ニーズが高まる中、被災者でもあり支援者でもあるオレグさんの活動を継続的に支援していきます。



WDRACヨーロッパを設立、ブルガリアでEUに法人登記



侵攻が始まる前からボランティア活動をしていた孤児院や障害児施設での活動を展開



安全に関する状況は好転せず、頻繁に避難命令が発令され、シェルターに駆け込む日々

Message from Patricia Kudo

パトリッチア・クドーさんからのメッセージ



Patricia Kudo

パトリッチア・クドーさん

親愛なるWDRACメンバーへ

ルーマニアの都市、クルジュ・ナポカのウクライナ避難民センター、ドブラ・ハタから愛を込めて、心から感謝をお伝えします。

私たちのすべての活動、クルジュ・ナポカの大規模な難民コミュニティへの日々の活動や、避難民を対象とした数々のイベントや取り組みは、皆さんの大きな助けによって可能になりました。

すべてはみなさんのおかげです。

ありがとうございます。

歴史に残るような取り組みのすべてを可能にするために努力して下さった皆様に感謝します

この大きな世界でどんなにひどい破壊があっても、私たちはポジティブなエネルギーをもって平和と人類のために挑み続けます。挑み続けます

これこそが、私たちの生活におけるシンプルな真実なのです。

引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



ルーマニア国内外からの多くのサポートによって活動が支えられている



ドブラ・ハタには週末には1日あたり100名程度の避難民が訪れ、そのほとんどが母子



教師やカウンセラーなど、専門職のスタッフがケアにあたる

Introduction of Unsung Heroes Activities

パトリッチア・クドーさんの活動紹介



Patricia Kudo

パトリッチア・クドーさん

避難センター「ドブラ・ハタ」を運営、学習支援から就労支援まで幅広く活動

侵攻直後から、ウクライナからルーマニアに避難する人たちの支援を続けているパトリッチアさん。WDRACからの寄付により避難センターを開設し、これまでに延べ3,500人を越える避難民をサポートしてきました。

拠点を設けることで活動は多岐に渡り、新生児と母親のケア、治療を必要とする人たちの通院のサポート、子供たちのサマーキャンプや学習支援、日常的な食料品や衛生用品の配布、職を求める人への就労支援、心理療法家による心のケアサポートなどを精力的に実施しています。

避難センターは「ドブラ・ハタ（優しい家）」と名付けられ、その名の通り祖国を離れて暮らすことを強いられる避難民の「家」として機能しています。

ドブラ・ハタの特徴は、そこでの活動を支えるボランティアが避難生活を送るウクライナ人である点です。クルジュ・ナポカの市民のみならず、避難民も共に助け合い、支え合うコミュニティが生まれています。

しかし資金面では大きな課題があり、WDRACとしても継続的な支援を行うために、様々な工夫が求められています。



ドブラ・ハタの外観



衣類の交換会には多くの女性が集まり、情報交流の場として活用されている



学習支援の場としても使われ、専門のスタッフも常駐している

Message from Simon & Travis

サイモンとトラヴィスからのメッセージ

ありがとう日本、今後とも共に活動を広げていきましょう



Simon Massey

サイモン・マッシーさん（写真右）

WDRAC、アキラ、そして日本の素晴らしいサポーターの皆さん、このプロジェクトの資金集めにご尽力いただきありがとうございます。

我々はイギリスのサイモンとアメリカのトラヴィスです。

皆様のご支援のおかげで、アクション・ビヨンド・ワーズでは、ウクライナでの活動開始以来、ポーランドで人道支援ボランティア本部を運営することができました。

この1年も皆様から素晴らしいご支援をいただき、ポーランドのメディカに拠点を設けたり、新しいバンを購入することができました。このバンのおかげで、ウクライナ全土で活動する際の支援量とボランティアの安全が驚くほど変わりました。

寄付をしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

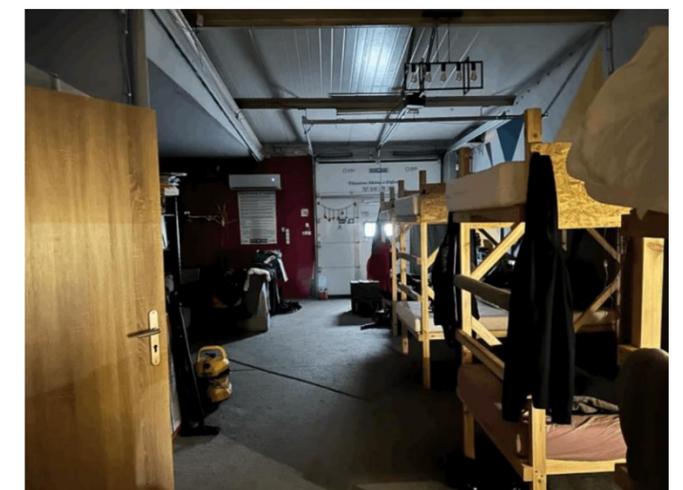
今後とも、ウクライナの人々を支援するため、共に活動を広げていきたいと思えます。



ポーランドとウクライナの国境の町、メディカの拠点は通称84と呼ばれる



11月現在、4台のバンをフル稼働してウクライナ国内を駆け巡っている



WDRACの寄付によってうんえ運営されている「84」の内部は、10人のボランティアが宿泊できる

Introduction of Unsung Heroes Activities

アンサングヒーローの活動紹介

NGOとしての活動をスタート、物資の運搬を中心に精力的に活動続ける



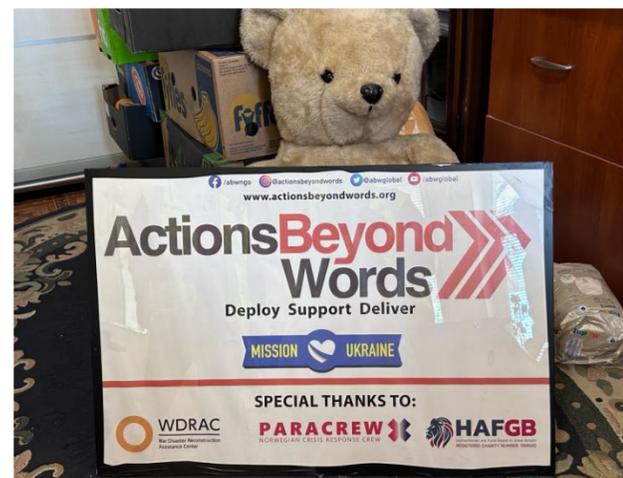
Travis Goode

トラヴィス・グードさん（写真左）

ウクライナへの侵攻が始まり、サイモンがメディカに駆けつけ活動を始めた当初はサイモン個人の取り組みでした。そしてトラヴィスが加わり、WDRACも支援を始め半年が経った2022年の秋、持続可能な組織的な取り組みにチャレンジするために、アメリカはカリフォルニア州にNGO団体として登記、Action Beyonds Words（行動は言葉を超える）という法人名で活動を始めました。

ポーランド国境の倉庫街に拠点を設け、物資の集約と仕分け、車でウクライナ国内に入り避難所や病院、孤児院や福祉施設などサイモン持ち前の交渉能力とトラヴィスのコミュニケーション能力によりネットワークが構築され、必要とされる場所に必要とされる物が届けられるようになりました。

メディカの拠点には各国からのボランティアが集い、およそ2週間単位で活動が続けられます。活動場所の範囲は広く、ほぼウクライナ国内全域を対象とし、時には戦闘が続く場所に極めて近い場所に物資を届けに行くこともあります。イギリスやアメリカ国内においても、ウクライナへの人道支援の寄付は落ち込みを見せ、活動資金の調達が課題となっています。



WDRACの寄付は彼らの手によって確実に現地に届けられている



効率的にウクライナ国内を周り、避難所までの「ラストワンマイル」を彼らが担っている



特に生鮮食品の物流は滞っているため、ウクライナ国内の避難所でも野菜のニーズは多い

About Donations

寄付について（実績）

これまで皆さまからお預かりした
寄付金額の合計は、

29,013,939 円

暖かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。
お預かりしたお金は、アンサングヒーローたちを通じ、必要な支援に充てられました。

※ 集計期間 | 2022年3月25日から2024年9月30日（約2年6カ月）

※ 通常の寄付は、送金手数料控除後、7%を限度としてWDRACの運営費用に充てております。

Project Review

事業振り返り 1/2

01 運営体制について

運営・IT・広報・会計・情報収集などのチームに分かれて活動。適時開催のチームミーティングや、隔週開催のオンライン全体定例会（参加任意）を実施。活動の9割以上はオンライン上で行われています。

活動当初から合議制での意思決定を重視し、透明性・公益性を図るとともに、寄付を有効に使えるよう、運営コストを極めて低くした組織運営を心がけています。



02 アンサングヒーローとのコミュニケーションについて

現地で活動するアンサングヒーローとは、日常的に情報共有の機会を持ち、現地でどのような対象に対しどんな支援をするか、活動にどれくらいの費用がかかるかを討議した上で、寄付金を送金しています。2024年には、より広いネットワークを目指し、アンサングヒーロー基金を立ち上げ、ベルリンにも支援の輪を広げました。

いずれも「善意の押しつけ」にならないよう、必要なときに必要な人に必要な物が効果的に届けられるように、現地のニーズを汲み取った上でサポートしています。



Project Review

事業振り返り 2/2

03 募金活動について

ウクライナの復興支援はまだまだ途上ではありますが、他地域でも支援のニーズは高まっていくと考えており、マンスリー会員募集や、クラウドファンディング告知徹底、及び法人寄付をはじめとする寄付基盤を向上させていく必要があります。

3期目は、佐賀県唐津市へ移転しました。今後、ふるさと納税の活用や、法人営業の仕組み構築などを推進していきます。



04 ボランティアについて

日々の活動にはおよそ20名ほどが活動に参加しています。学生、会社員、教員、経営者、アスリート、アーティスト、税理士など多種多様なバックグラウンドを持つメンバーがWDRACの活動を支えています。それぞれの専門性を活かし、仕事や学業の合間の時間を少しずつ持ち寄ること、またチーム単位での作業と連携をすることで効率の良い活動を実現しています。また、各自が無理のない範囲で参画することを、お互いに許容し、すべての日常の活動をすべてがオンライン上で進めることで、無理のない活動参加を可能にしています。



Financial Report

会計報告書 1/2

令和5年度 決算サマリー (令和5年10月1日～令和6年9月30日)

収入 4,018 千円

寄付金 4,018 千円

支出 4,528 千円

活動支援金 3,881 千円

支払手数料 323 千円

地代家賃 234 千円

備品・消耗品費 59 千円

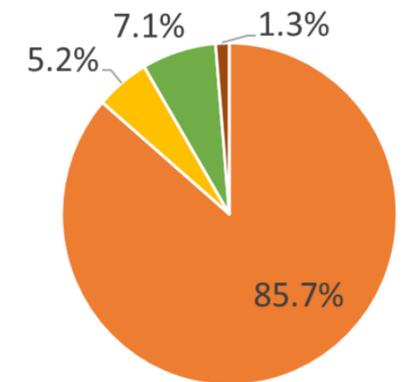
収支差額 ▲ 509 千円

【収入】
一般正味財産の部と、指定正味財産の部の受取寄付金の合計額となります。

【支出】
全支出のうち、86%がアンサングヒーロー達への活動支援金となりました。
※送金手数料を考慮すると、全支出のうち、93%がアンサングヒーローのために使われています
✓ 活動支援金：4名のアンサングヒーローたちに、計3,881千円の支援金をとどけることができました。
✓ 地代家賃：今後の活動のため、本店を佐賀県に移転し、シェアオフィスで一席分を借りています。

支出内訳

活動支援金 支払手数料
地代家賃 備品・消耗品費



【収支差額】
ウクライナでの紛争が始まってから、2年が経過し、関心が薄れるにつれ、寄付も集まりづらくなってきています。収入の規模にあわせて、無理のない支援を今期も行い、ほぼイーブンでの着地となっています。

Financial Report

会計報告書 2/2

一般社団法人 戦災復興支援センター

令和5年度決算書

1 貸借対照表

令和6年9月30日現在

(単位：円)			
科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	3,730,948	4,252,961	△ 522,013
未収入金	0	3,000	△ 3,000
流動資産合計	3,730,948	4,255,961	△ 525,013
2 固定資産			
(1) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	0	0	0
資産合計	3,730,948	4,255,961	△ 525,013
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	26,102	41,857	△ 15,755
流動負債合計	26,102	41,857	△ 15,755
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	26,102	41,857	△ 15,755
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
(うち、特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2 一般正味財産	3,704,846	4,214,104	△ 509,258
(うち、特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	3,704,846	4,214,104	△ 509,258
負債及び正味財産合計	3,730,948	4,255,961	△ 525,013

2 正味財産増減計算書

令和5年10月1日から令和6年9月30日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	0	13,000	△ 13,000
正会員受取会費	0	13,000	△ 13,000
受取寄付金	4,018,163	9,751,243	△ 5,733,080
受取寄付金	2,838,163	6,830,097	△ 3,991,934
受取寄付金振替額	1,180,000	2,921,146	△ 1,741,146
雑収益	616	64	552
受取利息	616	64	552
雑収益	0	0	0
経常収益計	4,018,779	9,764,307	△ 5,745,528
(2) 経常費用			
事業費	4,205,144	12,830,471	△ 8,625,327
活動支援金	3,881,890	12,425,532	△ 8,543,642
広告宣伝費	0	81,400	△ 81,400
支払手数料	323,254	323,539	△ 285
管理費	322,893	35,008	287,885
租税公課	29,191	35,008	△ 5,817
地代家賃	234,199	0	234,199
備品・消耗品費	59,503	0	59,503
経常費用計	4,528,037	12,865,479	△ 8,337,442
当期経常増減額	△ 509,258	△ 3,101,172	2,591,914
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 509,258	△ 3,101,172	2,591,914
一般正味財産期首残高	4,214,104	7,315,276	△ 3,101,172
一般正味財産期末残高	3,704,846	4,214,104	△ 509,258
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	1,180,000	2,878,146	△ 1,698,146
一般正味財産への振替額	△ 1,180,000	△ 2,921,146	1,741,146
当期指定正味財産増減額	0	△ 43,000	43,000
指定正味財産期首残高	0	43,000	△ 43,000
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	3,704,846	4,214,104	△ 509,258

Thoughts for The Third Phase

第三期目に向けて

基本方針

本年度は、次の3点を強化・推進します。

1. 寄付事業、特に団体・法人とのネットワークの強化
2. 戦災復興支援に向けての公益活動を推進・啓蒙
3. アンサンブヒーロー基金の推進

男が浜辺を歩いていると、打ち上げられたヒトデを海に投げ入れている少年がいた。

ヒトデは浜辺を埋め尽くすほどの数だった。

男は少年にこう尋ねた。

「1つずつ投げていても、何も変わらないのではないかね？」

すると少年はヒトデを手に取り、こう答えた。

「こいつにとっては大きな変化さ」

支援する人たちを支援する。

WDRAC
The Welfare Disaster Relief Association of Japan

支援する人たちを支援する。

WDRAC
The Welfare Disaster Relief Association of Japan

Thoughts for The Third Phase

第四期目に向けて

1. 寄付事業

災害被災者を着実に支援するために、被災地現地において実際に支援活動を行う者（以下「支援者」）を支援します。また、そのための募金活動を行います。本年度も個人向け募金活動を継続しつつ、法人向けの構築・強化を進めます。

・個人向けに広く寄付や協賛を募る活動

- ・ 個人向けのマンスリー寄付、クラウドファンディング寄付、ポスター・パンフレットの配布
- ・ その他、コンサート等との連携など、募金の仕方の多様化を継続実施

・（今期重点活動）企業・団体向けに寄付や協賛を募る活動

- ・ 企業・団体向けの募金活動などを設計し、活動を開始していく

・（今期重点活動）寄付者向けのコミュニケーション

- ・ 寄付活動や被災者・支援者への関心が継続していくように、寄付者へのコミュニケーションを設計・実施（報告メール、アニュアルレポート、満足度調査、等）
- ・ 当センター関与者及び寄付者の意識・行動変容に資する活動・コミュニケーション施策の検討・設計

・支援対象者の顔と実態が分かる活動への金銭的支援活動

- ・ 本年度の支援も、金銭的な支援及び精神的なサポートを中心とする。
- ・ 被災者に一番近い支援者に直接金銭を届けることで、中間コストを最低限にする仕組みを構築し、ノウハウを蓄積していく。

男が浜辺を歩いていると、打ち上げられたヒトデを海に投げ入れている少年がいた。

ヒトデは浜辺を埋め尽くすほどの数だった。

男は少年にこう尋ねた。

「1つずつ投げていても、何も変わらないのではないかね？」

すると少年はヒトデを手に取り、こう答えた。

「こいつにとっては大きな変化さ」

支援する人たちを支援する。



Thoughts for The Third Phase

第四期目に向けて

2. 普及啓発事業

一般市民による戦災復興支援に向けての公益活動を推進・啓蒙し、一般市民や団体の戦災復興や人道支援への関心やボランティア精神の涵養を促します。

- インターネットやイベント等による情報提供の活動
 - 当センターのホームページ (HP) を公開し、情報発信や寄付受付けのハブとしていく
 - イベント等による直接的な情報発信を継続して行っていく
- 人道支援活動に関する勉強会やセミナーを開催する活動
 - 被災地からの復興情報共有会や、当センターメンバーや有識者によるセミナーを行っていく
- 国内外における人道支援団体と連携する活動
 - 被災地支援を円滑かつ効果的に行うため、国内外の非営利組織との連携を行っていく

男が浜辺を歩いていると、打ち上げられたヒトデを海に投げ入れている少年がいた。

ヒトデは浜辺を埋め尽くすほどの数だった。

男は少年にこう尋ねた。

「1つずつ投げていても、何も変わらないのではないかね？」

すると少年はヒトデを手に取り、こう答えた。

「こいつにとっては大きな変化さ」

支援する人たちを支援する。

WDRAC
World Disaster Relief Association
人道支援団体

Thoughts for The Third Phase

第四期目に向けて

3. 戦災復興支援に携わる小規模市民ボランティア団体とのネットワークづくり

来期の重点施策の一つとして、「アンサングヒーロー基金」の継続実施を掲げます。本基金は、戦争や紛争の被害を受けた地域の復興や避難民支援に取り組む個人や団体を対象に、復興を見据えた具体的なプランを支援する制度です。本年度は初の試みとして一般公募を実施しました。その結果、現地での課題解決に向けた多様なアイデアに触れ、新たな支援対象を発掘できる有意義な機会となりました。

来期は、さらなる応募者との対話を重ね、支援対象者とのパートナーシップを深めるとともに、支援の透明性と持続可能性を確保するための運営体制の強化を目指します。また、選考プロセスの効率化やプロジェクト成果の見える化にも取り組み、基金がより多くの人への信頼と共感を得られるよう努めます。この取り組みを通じて、私たちWDRACの使命である「支援する人を支援する」をさらに推進してまいります。

- ・国内外での戦災復興支援に携わる団体への情報収集
- ・国内外で戦災復興に関わるアンサングヒーローとの関係づくりの推進



Organization

組織概要

代表理事

長尾 彰

理事

向谷 一

松本 潤二

山口 明香

監事

星 聡

アドバイザー

鈴木 寛（東京大学、慶應義塾大学教授）

アンサングヒーローに想いを託してくださったメンバーからのメッセージ



藤森 隆さん
長野県
会社経営者

経営者としてメンバー一人一人が関心を持ち続けられる支援をしていく

経営するジュエリーの会社で、お客様に1点ジュエリーをお届けする度に、100円を寄付するという社内PJを4月に始めて、これまでに3,000件30万円以上をヒーローたちに託すことが出来ました。僕を含め、会社のメンバー一人一人がウクライナや周辺の国々で、日常が戻ることを祈り耐える人々、それをわが身を顧みず助けようと活躍するヒーローたちに、毎月少しでも心の片隅で思いを寄せられる機会になるように、支援を続けていきます。



小島 有加里さん
神奈川県
洋菓子店オーナー

少しの気持ちの届く先は・・・

「寄付をする」ってちょっと気恥ずかしくて気おくれすることがありますよね。私もそんな一人です。コンビニの募金箱に入れるのも躊躇したりでも、うちのお店（洋菓子店）のワドックの募金箱に寄付してくれる方は本当にさりげなく、少しですけどって、、その少しの気持ちが集まって集まってアンサングヒーローへの大きな支援になること実感しています。

CONTACT US

お問い合わせ

活動内容や寄付の状況などについて、様々なメディアで発信しております。



一般社団法人

戦災復興支援センター

(@WDRAC.official)

<https://www.facebook.com/WDRAC.official/>



WDRAC

戦災復興支援センター

(@wdrac)

<https://www.youtube.com/@wdrac>



WDRAC

(@wdrac2022)

<https://www.instagram.com/wdrac2022/>



WDRAC

オフィシャルアカウント

(@WDRAC_official)

https://twitter.com/WDRAC_official

メールでのお問い合わせをご希望の方は、HPにございます、プライバシーポリシーをご確認の上、お問合せページよりご連絡くださいませ。
メールのご返信には、数日間お時間を頂戴する場合がございます。あらかじめご了承ください。 <https://wdrac.org/contact/>



THANK YOU

<https://wdrac.org/>

寄付はこちらから

WDRACのホームページから
簡単にできます。

